

学校の概要

学校名	新 庄 市 立 新 庄 小 学 校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	3	4	3	4	3	3	24	35
児童数	107	93	111	95	101	97	6	610	

研究の概要

1. 研究主題

「自ら学び、追究する子どもの育成」 ～確かな学力を育む授業改善～

2. 内容与方法

(1) 実施学年・教科

- 1、3、5 学年は、国語、算数、生活、社会、理科を中心に取組む。  
(理由 30 人以下の少人数学級であるため、全教科を通して取組む。)
- 2、4、6 学年は、算数を中心に取組む。  
(理由 算数は、少人数指導が有効な教科であるため)  
特殊学級は、全領域を対象に取組む。  
(理由 個に応じる指導計画の多様性が求められるため)

(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>○テーマ 「自ら学び、追究する子供の育成」 ～子供の実態と基礎・基本を大切にした単元の工夫と、 確かな学力の定着を図る授業づくり～</p> <p>○研究の見通し 研究の3つの柱である「教育課程や指導体制の工夫」「児童理解と実態把握を生かす授業づくり」「確かな学力を定着させる指導」について実践を進め、学力向上を図る。</p> <p>○研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的な教科担任制の導入</li> <li>・ 算数科における少人数編制の具体的な方法</li> <li>・ T・T 指導の積極的な実践</li> <li>・ 学級の実態把握、学力向上を支える児童同士、教師との信頼関係の確立</li> <li>・ めざす子供像、本校の重点とする学力の共通理解</li> <li>・ 児童の実態と、教科の基礎・基本的内容の把握を生かした単元づくり</li> <li>・ 指導者個々の学力向上対策の検討</li> <li>・ 研究の評価項目検討</li> </ul> <p>以上の点について、全教科を対象とし、個人テーマを設定し、それぞれが重点教科や課題を明確にして授業研究を進めた。また、低中高学年ブロックの組織で指導法を検討し、授業改善を図りながらテーマに迫った。</p>
--------------------	--

平成 15 年 度	<p>○テーマ「自ら学び、追究する子どもの育成」 ～ 確かな学力を育む授業改善 ～ サブテーマを変えた理由は、1時間の授業を大切に、確実に全員に力をつけるということ をより意識するためである。</p> <p>○研究の見通し（昨年度と同じ）</p> <p>○研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科担任制（5・6年生の学年担任団同士、3～6年生における担任外で実施）</li> <li>・ 少人数学級による授業、算数科の少人数指導の実施及びTT、コース別学習</li> <li>・ 少人数指導等の保護者への伝え方</li> <li>・ 補充的、発展的指導など個に応じた効果的な指導のあり方</li> <li>・ 教材、場、形態などの工夫</li> <li>・ 6年間を通した国語科・算数科の習熟教材「もみの木テスト」の作成</li> <li>・ 学力向上を支える学習規律、学習環境、家庭学習の工夫</li> <li>・ 一人一人を評価し確実に指導に生かす指導法の工夫</li> </ul> <p>以上の点について、全教科を対象とし、少人数学級部と少人数指導部の組織で実践を行った。</p>
--------------------	---

平成 16 年 度	<p>○テーマ、研究の見通し（今年度と同じ）</p> <p>○研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の活動を保障する教材開発、場の工夫、形態の工夫</li> <li>・ 学習内容に応じた多様な学習集団づくり</li> <li>・ 地域人材との連携</li> <li>・ 新庄中学校との交流（毎年1回）の成果と課題を生かした授業づくり</li> <li>・ 児童が見通しをもって自ら活動ができるための単元づくり</li> <li>・ 一人一人に応じた授業など、本校におけるきめ細かな指導方法の確立</li> </ul> <p>以上の点について、全教科を対象とし、少人数学級部と少人数指導部の組織で実践を行う。</p>
--------------------	--

### （3）研究推進体制

<p>研究推進委員会・・・校長、教頭、教務、研究主任、副主任、推進委員（学年主任）</p> <p>指導方法部会（全員、いずれかに所属している。）</p> <p>ア 少人数学級指導部・・・1・3・5学年（30人以下学級）</p> <p>イ 少人数指導部・・・2・4・6学年</p> <p>ウ 特別支援部・・・特殊学級</p> <p>専門部会（全員、いずれかに所属している。）</p> <p>ア 教科担任部   イ 教材開発部   ウ 調査部   エ 資料部   オ 学習環境部</p> <p>その他</p> <p>ア 学年部会（所属学年）</p> <p>イ 教科に関する研究（教科主任が中心になる。）</p>
---

## 平成15年度の成果及び今後の課題

### 1. 研究の成果

#### (1) 本校の研究内容(3つの柱)について、

一人一人の活動を保障するために、ペアやグループ学習を位置づけるなど、形態を工夫した。また、活動を選択できるために場を工夫した。

これらの実践で、教師が重点的に指導することができ、児童が自信をもって活動し、自主的に学習するようになった。

個に応じる指導をするために、コース別学習やTTなど指導体制や指導計画を工夫したり、教材を工夫したりした。

これらの実践で、学習への期待と意欲が高まり、その結果、一人一人が学習内容をよくつかみ、時間内にめあてを達成する子が増えた。

各種アンケート、テスト等の調査や担任の観察により、「学習意欲、知識・理解力、学力向上を支える人間関係」について児童の変容がみられるようになった。

指導者自身が授業に対する基本的な姿勢を自ら問い、指導に生かしたり、少人数指導の方法を共有したりしながら指導力向上の意識が高まった。

#### (2) 各調査について

全学年を対象とした学力検査の数値は以下の通りである。

(学校全体の平均点 平成14年度 平成15年)

国語	51.3点	52.1点	社会	50.5点	52.1点
----	-------	-------	----	-------	-------

算数	51.3点	52.2点	理科	50.2点	52.5点
----	-------	-------	----	-------	-------

全学年を対象とした校内習熟テストの数値は以下の通りである。

(4月～12月の平均点 年5回程度実施)

国語 87.9点 算数 89.1点

児童の意欲面についての調査の結果では、次の点が特に伸びている。

少人数指導(4、6学年対象、6月と11月実施)

「授業が分かってきた」現在83ポイント

「学習意欲が高まっている」現在78ポイント

### 2. 今後の課題

#### (1) 児童につけたい力

単元の見通しを持って、学習方法を考え、主体的に学ぶ力

#### (2) 指導者の工夫

個に応じた教材の開発および多様な指導法

以上の点について、研究を進めていきたい。特に、一人一人の活動が保障され、全員に学習の定着が図られるには教材の工夫に力を入れていく必要がある。その上で、場や形態を工夫し、一人一人に目と手が届く授業を作っていく。

#### 学力等把握のための学校の取組

- ・ 国語科・算数科における学年別習熟テストの実施(年5回程度)
- ・ 定期的な学力検査の実施(年2回)
- ・ 学習への興味・関心の調査についての数値的な調査(年2回)

#### フロンティアスクールとしての成果普及

- ・ 本校ホームページ内に研究概要を掲載(平成15年度)
- ・ フロンティアスクール中間発表会 平成15年10月2日(場所 新庄小学校 対象 最上地区)
- ・ 中間発表会時にパンフレット作成、参観者に配布

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- |           |   |  |  |  |
|-----------|---|--|--|--|
| 【新規校・継続校】 | 1 5 年度からの新規校                                | <input checked="" type="checkbox"/> 1 4 年度からの継続校 |  |  |
| 【学校規模】    | 6 学級以下                                      | 7 ~ 1 2 学級                                       |  |  |
|           | 1 3 ~ 1 8 学級                                | <input checked="" type="checkbox"/> 1 9 ~ 2 4 学級 |  |  |
|           | 2 5 学級以上                                    |  |  |  |
| 【指導体制】    | <input checked="" type="checkbox"/> 少人数指導   | <input checked="" type="checkbox"/> T . T による指導  |  |  |
|           | <input checked="" type="checkbox"/> 一部教科担任制 | その他  |  |  |
| 【研究体制】    | <input checked="" type="checkbox"/> 国語      | <input checked="" type="checkbox"/> 社会           | <input checked="" type="checkbox"/> 算数   | <input checked="" type="checkbox"/> 理科 |
|           | <input checked="" type="checkbox"/> 生活      | <input checked="" type="checkbox"/> 音楽           | <input checked="" type="checkbox"/> 図画工作 | <input checked="" type="checkbox"/> 家庭 |
|           | <input checked="" type="checkbox"/> 体育      | その他  |  |  |
|           | 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】                        | <input checked="" type="checkbox"/> 有            | 無  |  |